

「課題名 薬薬連携を担うお薬手帳活用状況 に影響を及ぼす患者要因の検討について

○研究の目的

お薬手帳は、飲み合わせの良くない薬剤の併用、同じ作用を持つ薬剤の重複を回避する上で有効な手段として評価されています。お薬手帳をどのくらいの方が持参しているか、お薬手帳の持参率に関連する要因を調べることで活用率をすすめ、病院と薬局の連携に役立てます。

○研究の方法

2018年7月1日以降から2018年7月30日までに広島大学病院に入院された患者を対象とします。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから使用する内容は患者基本情報、持参薬の有無、お薬手帳の有無、既往歴です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)(研究期間承認後~2018年12月31日)

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りませぬ。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学 薬剤部 教授 松尾 裕彰(研究責任者)
薬剤師 佐藤 佑樹(研究担当者)